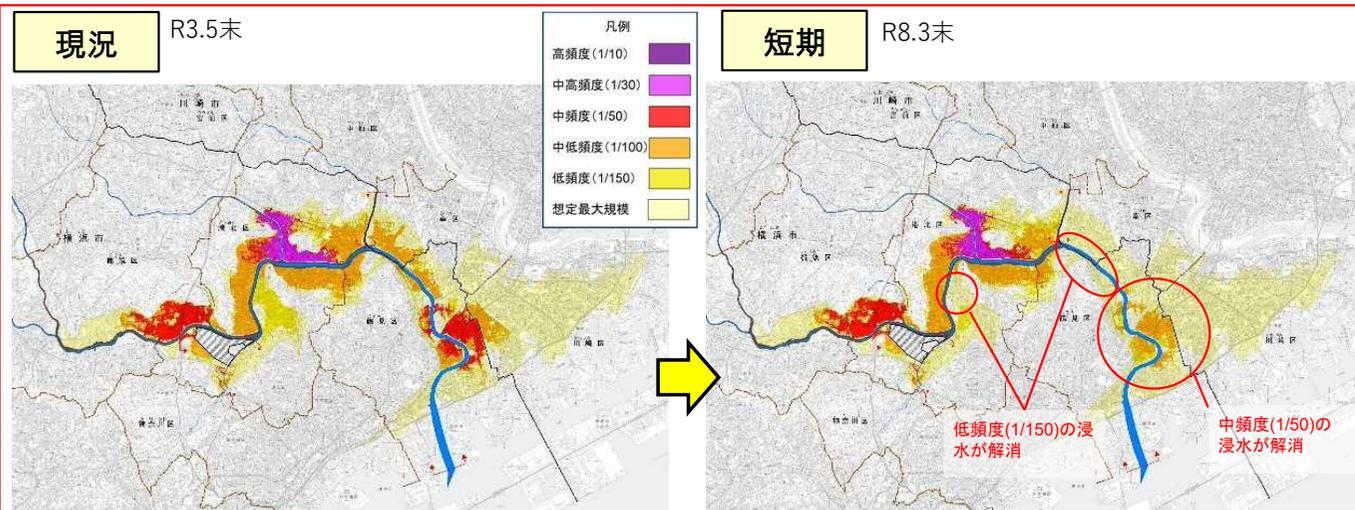
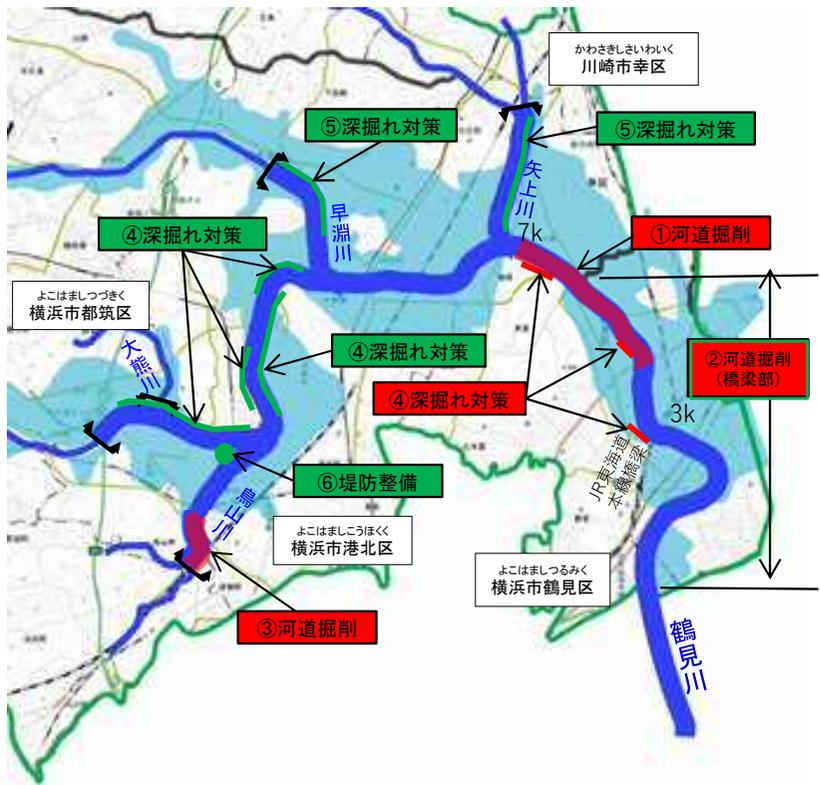


～全国でも有数の都市河川における流域と一体となった治水対策の推進～

○資産の集中する下流区間の河道掘削及び深掘れ対策が令和7年度までに一部完了することで、JR東海道本線橋梁より下流区間で河川整備計画規模の洪水を安全に流下させることが可能。また、矢板護岸の安全性確保を目的とする深掘れ対策は、7km（矢上川合流点）より下流において完了。

短期整備（5カ年加速化対策）効果（国直轄区間）：河川整備率 約74% → 約89%（整備計画規模）



注：洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)に基づき、鶴見川(直轄管理区間)が氾濫した場合に、浸水深が0cmより大きい浸水範囲をシミュレーションにより予測したものである。
 注：想定最大規模については、平成28年8月に公表した洪水浸水想定区域図である。
 注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。
 注：国直轄事業の実施によるものであるが、今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

算出の前提となる降雨 鶴見川流域の48時間総雨量
 高頻度(1/10):241mm 中高頻度(1/30):305mm 中頻度(1/50):336mm
 中低頻度(1/100):379mm 低頻度(1/150):405mm 想定最大規模:792mm



【短期整備完了時の進捗】

①鶴見川 河道掘削(3.0~7.0k)	100%
②鶴見川 河道掘削(橋梁部)	約80%
③鳥山川 河道掘削	100%
④鶴見川 深掘れ対策	約50%

対策内容				R3	短期	中長期
①	河道部 3.0~7.0k	鶴見川	河道掘削		100%	
②	河道内 橋梁部				約80%	100%
③	鳥山町	鳥山川	河道掘削	100%		
④	佃野、上末吉地区等	鶴見川	深掘れ対策		約50%	100%
⑤	矢上川橋~矢上橋付近 吉田橋~高田橋付近	矢上川 早淵川	深掘れ対策			100%
⑥	鳥山川合流点付近	鶴見川	堤防整備			100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。